

札幌地域における野菜の入荷量及び卸売価格の見通し

平成 26 年 1 月 31 日
農林水産省生産局農産部園芸作物課
電話 03-3502-8111 (内線 4822)

対象年月：平成 26 年 2 月
対象市場：札幌市中央卸売市場

【1月の経過（実績見込み）】

① 入荷の動向

1月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、四国及び九州もの等が出回った。主要野菜の入荷量は、総じて前年を下回る入荷となった。

「前年を上回った」のは、はくさい、レタスの2品目である。

「前年をやや上回った」のは、にんじん、ねぎ、きゅうり、トマトの4品目である。

「前年並み」は、だいこん、ピーマンの2品目である。

「前年をやや下回った」のは、キャベツ、ほうれんそうの2品目である。

「前年を下回った」のは、なす、ばれいしょの2品目である。

「前年を大幅に下回った」のは、さといも、たまねぎの2品目である。

② 価格の動向

このような入荷状況のもとで、1月の野菜価格は、総じて前月平均をやや上回る価格となった。

「前月平均を上回った」のは、ピーマン、ばれいしょの2品目である。

「前月平均並み」は、にんじん、キャベツ、ねぎ、きゅうり、さといも、たまねぎの6品目である。

「前月平均をやや下回った」のは、だいこん、レタスの2品目である。

「前月平均を下回った」のは、はくさい、ほうれんそう、トマトの3品目である。

「前月平均をかなり下回った」のは、なすの1品目である。

【2月の見通し】

① 入荷量の見通し

2月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、近畿及び九州もの等が出回る。野菜の入荷量は、総じて前年をやや下回る入荷が見込まれる。

「前年並み」は、北海道、千葉県及び神奈川県主体のだいこん、茨城県、埼玉県、千葉県及び愛知県主体のにんじん、茨城県主体のはくさい、北海道及び愛知県主体のキャベツ、栃木県、群馬県及び埼玉県主体のほうれんそう、北海道、群馬県及び埼玉県主体のねぎ、茨城県、静岡県及び香川県主体のレタス、宮崎県主体のきゅうり、熊本県及び宮崎県主体のトマト、宮崎県主体のピーマン、北海道主体のばれいしょ、埼玉県及び宮崎県主体のさといもの12品目である。

「前年を下回る」のは、高知県主体のなす、北海道主体のたまねぎの2品目である。

② 価格の見通し

このような入荷状況のもとで、2月の野菜価格は、総じて前月平均並みの価格が見込まれる。

「前月平均を上回る」のは、トマトの1品目である。

「前月平均をやや上回る」のは、だいこん、はくさいの2品目である。

「前月平均並み」は、ほうれんそう、ねぎ、きゅうり、なす、ピーマン、ばれいしょ、さといも、たまねぎの8品目である。

「前月平均をやや下回る」のは、キャベツ、レタスの2品目である。

「前月平均を下回る」のは、にんじんの1品目である。

※ この資料の内容は、1月30日（木）現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

(参考) 入荷量と卸売価格の見込み

	2月の入荷量			2月の卸売価格			2月の主産県
	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	
だいこん	=	=	=	○	△	△	神奈川(40.9%)、北海道(28.0%)、千葉(14.0%)
にんじん	○	=	△	△	△	=	千葉(40.5%)、愛知(19.8%)、茨城(19.6%)、埼玉(10.5%)
はくさい	△	=	△	○	=	=	茨城(66.8%)
キャベツ	○	=	=	△	○	=	北海道(52.6%)、愛知(43.6%)
ほうれんそう	○	=	=	=	○	○	群馬(48.3%)、埼玉(20.7%)、栃木(4.3%)
ねぎ	△	=	=	=	=	△	埼玉(50.7%)、北海道(16.6%)、群馬(11.6%)
レタス	○	=	○	△	=	=	茨城(30.7%)、静岡(22.9%)、香川(20.5%)
きゅうり	○	=	△	=	○	=	宮崎(82.7%)
なす	=	△	△	=	△	△	高知(74.5%)
トマト	△	=	△	○	=	=	熊本(84.0%)、宮崎(7.1%)
ピーマン	△	=	=	=	△	△	宮崎(83.0%)
ばれいしょ	○	=	=	=	○	=	北海道(100.0%)
さといも	○	=	△	=	○	○	宮崎(56.6%)、埼玉(6.8%)
たまねぎ	○	△	=	=	○	○	北海道(99.9%)

入荷量と卸売価格の符号

符号	入荷量	卸売価格
○	多い	高い
=	同じ	横ばい
△	少ない	安い